

# 平成29年度 洛友会東京支部総会

平成29年6月25日(日)  
於 学士会館

本総会は、「洛友会東京支部 支部会則」第8条および第9条に基づき開催するものです。

## 議事次第

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- [第一号議案] 平成28年度行事・活動報告
- [第二号議案] 平成28年度決算報告および監査報告
- [第三号議案] 平成29年度の役員／評議員／幹事
- 支部長退任の挨拶  
(役員交代)
- 新支部長挨拶
- [第四号議案] 平成29年度行事・活動計画
- [第五号議案] 平成29年度予算計画
- [第六号議案] 米寿・喜寿のお祝い
- 閉会の辞

付録1: 洛友会東京支部会則【平成28年6月26日改正】

支部総会終了後、引き続き、講演会、懇親会が行われます。

洛友会東京支部ホームページ <http://www.rakuyukai.org/tokyo>  
洛友会東京支部メールアドレス [webmaster@rakuyukai.org](mailto:webmaster@rakuyukai.org)

(ご参考)

京都大学アラムナイホームページ <http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

# 1. 平成28年度行事・活動報告

## 1.1 支部総会, 講演会, 懇親会

平成28年6月26日(日)、学士会館にて、東京支部総会、講演会及び懇親会を開催しました。本部より長尾会長、荒木幹事長、佐藤事務局長を初め多数の来賓をお招きし、60名の参加をいただき、例年どおりの盛会となりました。

### 【支部総会】

支部総会は田邊総務幹事の司会により、午後3時に成宮支部長による挨拶で始まりました。田邊総務幹事より平成27年度行事・活動報告[第一号議案]があり、支部総会の講演会では、京都大学・宇宙総合学研究ユニット特任教授の中野不二男先生を講師にお招きし、大変興味深いご講演を頂けたこと、その後の懇親会も長尾会長のご挨拶を初めとして、米寿、喜寿を迎えられた方の一言や、「琵琶湖周航の歌」合唱で大盛況であったこと、秋の講演会では京都大学生命科学研究科高次元遺伝情報学分野教授の米原伸先生より、「細胞の死が支える生体の生と機能～自爆するための細胞表面レセプターの発見から多様なプログラム～」と題して講演を戴き、細胞の死が生体の維持にどれだけ大切かを改めて感じさせられたこと、春の見学会は情報通信研究機構を訪問し、サイバー攻撃を検出するシステム nicter、フェーズドアレイ気象レーダ、光通信基盤技術、日本標準時の技術の見学など充実した内容であったこと、2月の若手交流会は明治大学国際総合研究所フェロー・元NTTデータ代表取締役社長の浜口雄一様をお招きして「企業変革のリーダーシップと社員力」と題して、ご講演いただくことで例年にも増して若手会員の参加者が多かった、などの紹介がありました。また、5つの趣味の会、5つの拡大クラス会の状況について報告があり、拍手をもって承認されました。

続けて、平成27年度決算報告および監査報告[第二号議案]があり、ほぼ予算計画通りの決算となったことが福原会計幹事より説明されました。この決算内容に対し、真崎監事から適正に会計処理され決算報告に記載されているとの監査報告が行われ、決算報告および監査報告は拍手をもって承認されました。

次に、平成28年度の役員／幹事[第三号議案]の提案が行われました。平成28年度の新役員／新幹事は、支部長 小森光修(S50卒)、副支部長 下村寛士(S51卒)、監事 得井慶昌(S52卒)、総務幹事 福原忠行(H9卒)、会計幹事 山本輝哉(H10卒)、庶務幹事 工藤伊知郎(H10卒)、若手交流会幹事 田邊義孝(H8卒)の7名となりました。また、拡大クラス会ではおぼろ会は活動終了になったことと新規クラス会(S55～S59卒)を新設予定であることをご報告しました。質疑応答にて指摘のあった拡大クラス会の幹事及び学年幹事は再確認することを条件とし、拍手をもって承認されました。

成宮支部長から退任の挨拶がありました。「支部長として1年、役員としては3年間、皆様のご協力も得ながら会員の皆様が少しでも多く参加できることを目的として企画に取り組んできました。特に若手交流会については開催曜日の変更など取り組んできた結果、少しずつ多くの若手に参加をしてもらえるようになってきました。憂慮すべきは東京支部の会費納入会員数の減少であり、是非皆様のご協力をもとに身近な方・職場関係などお声をかけていただき、是非多くの方に洛友会に参加していただきたい。」との話がありました。

引き続き、小森新支部長から就任の挨拶がありました。「役員としては2年実施してきました。会員数、若手参加の課題はありますが、新体制として支部長、副支部長、監事、若手幹事4名の計7名で今年度進めていきます。」との話がありました。



成宮支部長



小森新支部長

次に、福原新総務幹事から、平成 28 年度行事・活動計画[第四号議案]について説明を行いました。例年通り、秋の講演会、若手交流会、春の見学会などの行事、拡大クラス会(昨年同様の開催を予定、S55～S59 卒の拡大クラス会の設立を目指す)・趣味の会を実施すると共に、登録会員数向上、若手活性化施策、全学同窓会活動との連携を検討していくこと、などが説明されました。質疑応答にあがった2件(趣味の会は若手が参加できるような新規追加検討、会費納入率の向上)は今後検討していくこととし、拍手をもって承認されました。更に、平成 28 年度予算計画[第五号議案]が説明され、拍手をもって承認されました。

続いて、福原新総務幹事から洛友会東京支部会則の改正[第六号議案]について、若手勉強会の名称を若手交流会に変更する提案と拡大クラス会の統合を可能にする提案を行い、拍手をもって承認されました。

その後、平成 28 年度に米寿・喜寿を迎えられた方々(米寿 2 名)に対し、大きな拍手と共に会場より祝意が表されました。

次に、洛友会本部の荒木幹事長より平成 28 年度の事業計画についてご説明いただきました。会員数・会費納入状況の説明、会員専用 WEB サービスなどについて紹介されました。また、佐藤事務局長から教室の近況として、吉田キャンパス及び桂キャンパスの状況、大学・電気電子系組織の紹介、学生の就職状況の説明がありました。

以上をもって、平成 28 年度洛友会東京支部総会は閉会となりました。

## 【講演会】

「高齢化社会で健康に生きる」と題して、聖路加国際病院 福井次矢院長様からご講演いただきました。

### ご講演内容

日本人の主な死因に老衰が5位に入ったことから始まり、最近社会でも取り上げられるようになった「健康寿命」の重要性について紹介していただきました。健康寿命とは「普通に生活できる期間」であり、平均寿命と健康寿命の差は男性で約 9 年、女性で約 12 年となっており、健康寿命の延長が国家的な目標となってきた。非健康寿命の主な原因として脳卒中・心不全、認知症、骨折、慢性閉塞性肺疾患(COPD)を挙げられ、COPDは煙草を吸う方のみなるため、喫煙者は本日からでも是非やめることを推奨されました。

健康的な加齢とは「身体に障害がない」、「生活に満足し、楽しむことができる」、「制限がなく、身体的・精神的・社会的に思い通りに活動できる」ことであり、そうするためには病気にならない(一次予防)、早く病気を発見し対処する(二次予防)が重要とし、余命を短縮するのは「沈黙(症状に乏しい)の病気(糖尿、高血圧、肥満など)」によって引き起こされ、それは誤った生活習慣、遺伝要因、環境要因からなると説明していただきました。各習慣(禁煙、食事、過剰な脂肪摂取、運動)の影響を説明していただく中で睡眠時間は長くても・短くても駄目であり、適切な時間(7-8時間)が最もよいという点は大変興味深かった点です。それ以外に、がんを防ぐための12か条を紹介、地域の医療施設についての正しい情報を入手、医療制度についての正しい情報の入手・理解、適切な医療施設に行く重要性、更にはこれらの正しい行動をするためには、自分から命について常に学ぶ姿勢が重要であることを説いていただきました。

次に、日野原重明先生の健康データを一般の同年代のデータと比較して、脳の状態・心臓の冠状動脈の状態が驚くほどきれいであり、日野原先生の「10の生活習慣」及び「100歳になるための100の方法」を紹介していただきました。

医療の現状と展望として、健康寿命としてみると日本が一番であるが、医療制度全体の世界ランキングはフランスがトップで日本は10番である。高齢化社会になる速さは類をみないため(フランスは110年かかったが日本は24年でなっている)、アジアの国々も日本の今後注目している。直面する課題・方向については、量的(寿命)についてはトップを達成したが、質的(QOL、健康寿命)側面の改善の余地がある点、医療費の高騰や保障制度の問題、死の受容様式と文化の対応、医学研究や先進医療の推進の必要性、医療の国際展開を論じられました。最後に、「寄付をすると血圧が下がる」ということをメカニズム含めて興味深く紹介していただき講演を締めくくられました。

福井次矢院長様の1時間半の講演を通して、高齢者になっても健康に生きるためには常に自ら情報を収集し学んでいく姿勢が重要性であることを認識させていただけるもので、大変興味深いご講演でした。



福井 次矢 様



講演の様子

### 【懇親会】

午後 5 時より、恒例の懇親会に移りました。懇親会は、小森新支部長の開会のご挨拶のあと、長尾会長のご挨拶と乾杯のご発声で始まり、例年通りの幅広い年齢層にわたる多彩な参加者の交流の場となりました。会員の方々の活発な意見交換が行われました。趣味の会幹事の方から各会のご紹介、米寿・喜寿を迎えられた方から一言を頂いた後、山本新会計幹事の音頭により、恒例の「洛友会の歌」及び「琵琶湖周航の歌」を合唱しました。最後に、下村新副支部長の中締めにより、午後 18 時 30 分に散会となりました。



琵琶湖周航の歌斉唱

[報告] 会計幹事 山本輝哉 (H10年卒)

## 1.2 秋の講演会

平成 28 年度秋の講演会は、11 月 10 日(木曜日)18 時 30 分から学士会館にて開催されました。

今年は、JT 代表取締役副社長新貝康司様に「JT の M&A 戦略～日本企業が世界企業に飛躍するために～」と題してご講演をいただきました。52 名の方にご参加いただきました。

新貝様は洛友会東京支部会員(S53 卒)で、JT の M&A 戦略の責任者として長くご活躍され現在に至っています。また、日本の海外 M&A の第一人者として新聞・雑誌等に頻繁に登場されており、ご著書である「JT の M&A(2015 年 6 月、日経 BP 社刊)」は海外 M&A の教科書として高い評価を受けております。今回は、企業経営や M&A について、幅広い角度から興味深いお話をして頂きました。

JT の経営理念として、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の 4 者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4 者の満足度を高めていく」という 4S モデルを通じ、中長期の持続的な利益成長を実現しています。更に、4S モデルの追求が、中長期に亘る企業価値の継続的な向上につながり、4 者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信したとのことです。「JT グループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業」を目指し、中長期に亘る持続的成長に向けた事業を運営する目的で、様々な事業および海外企業の M&A に取り組まれた結果、JT の売り上げの 58%が海外たばこ事業からの収益となっています。

JTの海外たばこ事業は子会社のJTIが担い、JTIの世界本社はジュネーブ、70カ国籍以上の社員が働き、Executive Committee(業務執行役員会)は11の異なる国籍を有する合計16人から構成されています。また、世界各国に364オフィス、30工場(25:たばこ製造、5:その他)、8研究施設を所有し、100カ国以上の国籍で構成される社員は約26,000人で、JTからの出向者は約200名と、ほとんどが外国国籍の人で構成されています。なお、No1のポジションの市場は17もあります。

JTIの特徴としては、時間を買う、2度の大型買収、「マルチナショナル」で「多様性に富んだ」組織、日本人に過度に依存しないグローバル化が挙げられます。

Gallaher 買収・統合で学んだことは、「買収の成功＝統合の成功」、「買収目的の明確化」、「3つの市場(製品・サービス、人財、資本)での競争力あるM&A」「Value Chain 全てそろった会社に対する買収後ガバナンスの確立」が重要とのこと。世界規模での統合では、周到な準備、役員・従業員の将来への不安感への対処とビジネスへの影響の最少化も重要です。

一連の買収から教訓としては、以下とのこと。です。

・買収は自ら有事を招く行為。有事は集中の原則に則り、トップマネジメントのコミットメント(時間、心技体:オーナシップマインド、リテラシー、体力)なくして成功はおぼつかない。

・人心が不安に陥り、会社(買収側と被買収側)が最も脆弱になる買収完了から統合計画発表までの期間を短縮することが成功の必要条件。

・責任権限等のルールや意思決定・経営情報の徹底した見える化を、買収会社と被買収会社間で約束するベストタイミングは買収完了時。

・力強い国内(本業)なくして、海外で大きなリスクテイクはできない。

・自律成長の勢いなくして買収の成功はない。

・買収後経営の青写真が果たした役割:①精度の高い相手先の価値、シナジー価値の算定と統合課題の発掘。②Due Diligence、交渉、競争法上の対処における、課題となる事象や項目の企業価値への影響度の迅速な判断。③瑕疵が起きにくい買収意思決定資料作成と、JTからJTIへの大幅な権限移譲。④統合計画のたたき台として活用し、早期に統合計画を作成。これらが、M&Aに必要な要素であるとのことでした。

M&A後に共有する価値観としては以下とのことでした。①顧客、株主、社員、広く社会の四者への責任を高いレベルで果たし、その満足度を高めていく4Sモデル。②謙虚さ、真摯さを持ってビジネスにあたる。(野心は会社のために。会社とは4S。)③中長期視点を大切にしながら短期の成果もしっかりと出す。④あらゆる品質にこだわる。

最後にグローバル経営への示唆として、グローバル化に対する気概・覚悟、強力なリーダーシップの発揮、日本人に拘らない有為の人財の登用、欧米流・日本流 双方の強みの融合、コミュニケーション・対話の徹底を挙げられておりました。



新貝 康司 様



講演の様子

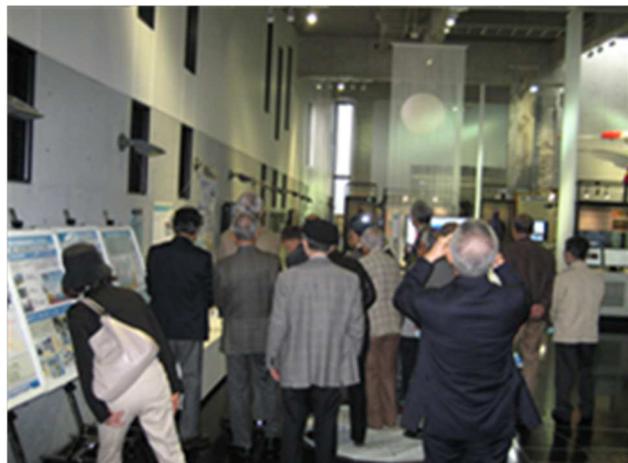
今回の講演では、M&Aは買収とは言え人が重要であること、権限移譲や日本人に拘らない人材確保など、人を重視することが重要であることを認識させていただき、大変勉強させていただけるよい機会となりました。

[報告] 総務幹事 福原 忠行(H09 卒)

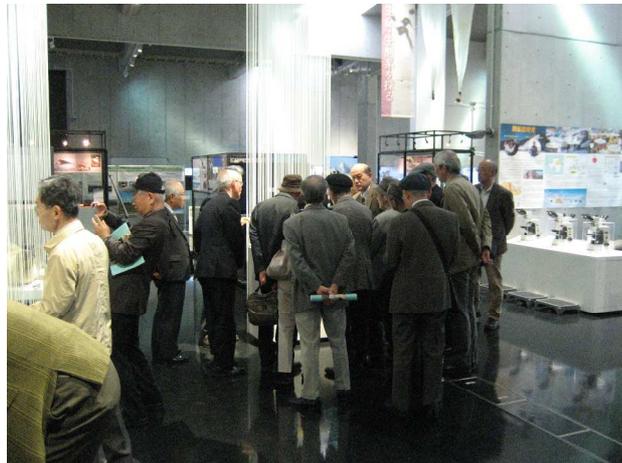
### 1.3 見学会

桜の満開を迎えた4月7日(金)、恒例の春の見学会を開催いたしました。本年度の見学は、東京都立川市にある国立極地研究所を訪れ、23名の方にご参加いただきました。

皆様のご協力によりJR新宿駅を定刻に出発し、平日のため道路状況が心配されましたが、渋滞もなく10時過ぎに国立極地研究所に到着いたしました。当初予定より早く到着したこともあり、計画を変更し、最初に国立極地研究所に併設されている南極・北極科学館の見学をいたしました。今回の見学会の準備及び対応に多大なご尽力をいただいた山岸久雄様(S48卒)に科学館内の説明及び皆様に質疑応答にも丁寧にご対応いただきました。



科学館の見学



科学館の見学

科学館見学後、会議室にて中村卓司副所長(S59卒)からご挨拶と極地研究所の紹介をしていただきました。極地科学という言葉は初めて伺いましたが、地球環境への理解が大変深まりました。私見となりますが、研究者が観測隊員として普通に行けることは羨ましい限りでした。引き続き、アイスコア研究センター長の東久美子教授から「アイスコアによる過去の気候・環境変動復元」の講演をいただきました。アイスコアは氷床を掘削して得られた氷床コア(英語で ice core)のことであり、過去の大気が化石のようにアイスコアの中に保存されている。アイスコアを分析することにより10万年前の気候変動を調査できることと、そのような様々な結果から氷床の質量減少は海面上昇だけでなく、海洋循環や気候の変化を招き、人間社会に大きな影響を与える可能性があるとのことのお話は大変興味深かったです。アイスコア講演後、同センター内の低温実験室と貯蔵室及び研究室を2班に分かれて見学をいたしました。低温室は $-20^{\circ}\text{C}$ から $-50^{\circ}\text{C}$ の部屋まであり、その中でも雪氷コア貯蔵室( $-50^{\circ}\text{C}$ )はとんでもない寒さで、南極・北極の寒さを少しでも体感できた気がしました。また、研究室ではガス抽出・分析装置が多数あり、アイスコアのサンプルを用いた気体分析や質量分析をどのように実施しているかを見学することができました。



中村副所長のご挨拶



東センター長のご講演



低温室の見学



研究室の見学

国立極地研究所の見学後、バスに乗って多摩湖周辺にある中国割烹旅館 掬水亭に移動し、昼食をとりました。御膳を堪能しながら、話題に事欠くことなく、楽しい時間を過ごしました。昼食後はそのまま多摩湖湖畔を散策しました。桜が満開であり、気持ちのよい散策を各自で楽しみました。支部会員のみみなさまの親睦を図ることができ、充実した1日を過ごすことができました。その後、バスにて新宿駅まで戻りましたが、帰り道は渋滞もあり、予定よりも遅い到着となりましたが、参加者皆様のご協力のお陰で、無事解散となりました。



集合写真



多摩湖散策

今回の見学にあたり、事前のご準備、当日ご対応いただきました、国立極地研究所名誉教授の山岸久雄様(S48 卒)、国立極地研究所副所長の中村卓司様(S59 卒)、アイスコア研究センター長の東久美子様及び国立極地研究所の皆様にご感謝申し上げます。

[報告]会計幹事 山本 輝哉(H10 卒)

#### 1.4 若手交流会

平成 29 年 2 月 24 日(金)、京都大学東京オフィス会議室におきまして、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の前理事長の立川 敬二様をお招きし、「NTT におけるビジョン策定と JAXA における経営改革」に関するご講演をいただき、46 名の方にご参加いただきました。若手会員から要望の高かった企業経営に関する講演ということで、例年にも増して若手会員からの期待度が高く、会場の収容人数ぎりぎりの盛況ぶりでした。

勉強会は開始時間の都合で、お弁当による夕食会から始めました。その際には立川さんからご提供頂いた JAXA でのロケット打ち上げシーン等の上映が行われました。

ご講演は、立川さんが NTT 時代に行われた 3 つのビジョン策定のお話からはじまりました。電気通信事業はめまぐるしく変化しており、その状況に応じて新たなビジョンを作りって言ったということです。まず最初につくられたビジョンが 1979 年の「INS(Information Network System)構想」です。当時日本の電気通信環境は「すぐ

つく電話、すぐ繋がる電話」の2大目標が達成された直後であり、その後の日本の電気通信の新しい目標の追求の時期であったようです。このビジョンをもとにパケット交換によるデータ通信、画像通信、衛星通信などの新サービスが導入され、ISDN サービスである INS64 はピーク時に 1032 万契約を達成しました。

次に通信の自由化、NTT の民営化後の通信に競争原理の導入が実施された状況の中でつくられたのが 1990 年の「VI&P サービスビジョン」でした。NTT として料金値下げだけではなく新しいサービスを作り出して行くというもので 15 年後の社会を想定したニーズ予測、技術予測を実施されました。そのあと技術予測は計 3 回行われたそうです。自身の行っている分野で 15 年先ぐらいの技術予測をやり、やりっぱなしではなく 10 年後ぐらいに検証するというのを繰り返すことが大事というお話が印象的でした。

続いて NTT ドコモの社長としてドコモ第 2 の発展を目指した経営方針である「ドコモビジョン MAGIC」を 1999 年に作られました。数よりも価値を見出すことを目標に現場とのディスカッションを繰り返し作成。その後ドコモでは「i モード」サービスが爆発的なヒットを記録しわずか 3 年間で 3000 万契約を達成したとのことです。

その後、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の理事長に就任され JAXA の経営改革に取り組みました。就任前年の 2003 年には世界各国でロケット打上げの失敗が続いており、日本でも H-IIA ロケットの打上げ失敗がありました。立川さんは事故対応として信頼性向上のための改革に取り組みました。責任分担制の改革や信頼性確保のための外部専門家、独立チームの導入、国民から信頼される宇宙開発の実現にむけた説明責任と国民の理解促進を行われました。

また 3 つの異なる宇宙航行開発の統合を行うため、One JAXA 運動を開始され全職員との対話会、システムエンジニアリングの強化等々の試作を実施。さらに「JAXA ビジョン 2025」を公表され、地球環境維持への貢献から信頼性改革、国民の理解増進まで様々な取り組みを行われ、現在の日本の宇宙開発の方向性を示されました。

大企業経営者から、実際の経験に基づく企業経営に関する様々なお話を伺うことができ、普段、企業経営を身近に感じる事ができない大半の若手会員にとり、大変有意義な講演となりました。質疑応答でも多彩な質問が寄せられ、講演会は大盛況のうちに終了しました。



立川様の講演風景



講演会場の様子

[報告] 庶務幹事 工藤 伊知郎(H10卒)

## 1.5 趣味の会

名称	平成28年度幹事
囲碁会	喜多村 滋氏(S36卒)、向井 利典氏(S41卒)
麻雀会	船山 眞弘氏(S39修卒)
ゴルフ会	古澤 久具氏(S35卒)、山澤 穰氏(S38卒)、田崎 信氏(S44卒)
洛謡会	村上 薫氏(S36卒)
テニス会	山内 英樹氏(S44卒)、田中 喜男氏(S44卒)、成松 洋氏(S46卒)

入会のご希望、またはお問い合わせがございましたら、以下のアドレスにメールをご送付ください。

- ・囲碁会 igo@rakuyukai.org
- ・麻雀会 mahjong@rakuyukai.org
- ・ゴルフ会 golf@rakuyukai.org
- ・洛謡会 utai@rakuyukai.org (宝生流、観世流の謡会)
- ・テニス会 tennis@rakuyukai.org

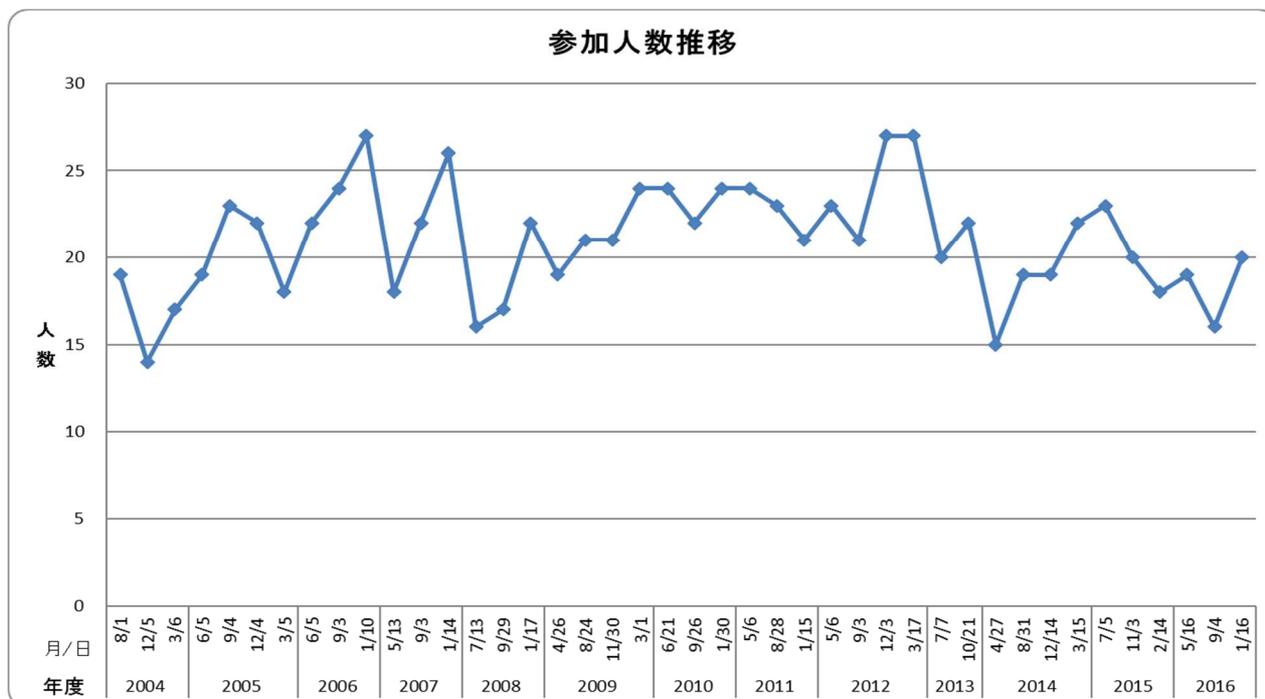
## ●囲碁会活動報告

幹事 喜多村 滋(S36 卒) 向井 利典(S41 卒)

H28 年度は 5 月、9 月および H28 年 2 月の 3 回東京駅八重洲地下の“いずみ囲碁ジャパン”で開催し、参加人数はそれぞれ 19 人、16 人、20 人であった。

過去数年前までは多いときで 25 人を上回ることもあったが最近は 20 人前後となっている。

2004(H16)年度以降の参加人数実績を以下に示す。



## 会員動向:

現在、登録された会員総数は約 75 名であるが、高齢化、移転による遠方居住者、その他音信不通の方等実質的に参加できない会員を除く実働会員は約 55 名で、昨年度と殆ど変わらない。

その内、平成 28 年度年間を通して実際に参加した延べ人数は約 30 名で、参加者は概ね固定化されている。卒年別の分布は S35 年以前卒、S36～40 年卒、S41 年以降卒それぞれ約 10 名となっているが、数人を除いて全員が 70 歳以上の高齢化集団となっている。

H28 年度は松本敏郎氏(S44 卒)が新規に参入された。洛友会囲碁会の平均年齢を下げ、会が活気づくのを期待したい。

とは言いながら、毎年の繰り返し言になるが、S40 年代後半以降卒の参加が切望される。

## 運営方式:

対局方式は各自の持点によるハンディキャップ制とし、午後の半日の時間内(原則1時～6時)に各自3局対局を標準として、最初の3局の成績に応じて賞品(図書カード)を進呈している。

時間の許せる人は4局目以降の対局も自由で、結果は次回の持点に反映する方式をとっている。

## 参加者数と成績:

各回の参加者数、成績優秀者(3戦全勝者)は以下の通り(卒年順、敬称略)

◇ 第1回(H28年5月16日)

参加者 19名

優秀者 石黒公(40卒)

◇ 第2回(H28年9月4日)

参加者 16名

優秀者 野村卓也(27卒) 塚田一幸(42卒)

◇ 第3回(H29年1月16日)

参加者 20名

優秀者 山口修(35 卒) 釜江尚彦(36 卒)

囲碁会は「気軽に参加し、気楽に楽しむ」ことをモットーに、例会開催日直前での参加や取消しにもフレキシブルに対応し、集合・解散の時間も各々自由に行うことができる、いわゆる「好きな時に来て好きな時に帰る」方式をとっている。また、持ち点制のハンディキャップ採用で、どんなに棋力の差があっても対等に対局でき、盤前に対座すれば親子孫ほどの年齢差に関係なく、年代を越えて和やかな雰囲気でお互いを楽しめるので興味のある方はどうぞ気軽にご参加いただきたい。

以上

## ●麻雀会活動報告

幹事 船山真弘(S39修卒)

### ○第105回 平成28年9月3日(土) 雀荘「すずめそう」参加者8名

今例会から開催場所が赤坂から渋谷が変わった。これまで3年半お世話になった赤坂の雀荘「天和」は、従業員不足から開店時刻が午後1時半となったため、われわれの例会には不都合となりそのため場所替えせざるを得なくなった。幸い、同じチェーン店の渋谷の雀荘「雀荘(すずめそう)」では営業時間に制限がなく、高齢者割引もより多くあり、格好と判断し移転を決めた。

新会場での初開催にかかわらず、参加者8名全員が一人の遅刻者もなく開始時刻12時までに出揃った。ところがゲームの進行は堅調といおうか、慎重といおうか、大きな和り役は、役満はおろか、倍満もなく、はね満どまりであった。ちなみに大波賞受賞者の最大和り点と最小和り点の差は45点で、これはここ3年半に開催された全例会7回中の最小値であった。

なお、前例会に発足した、麻雀終了後の一杯会は、会場を1階下のトーキョー サロナード カフェ「ダブ」で開催することとした。今回の最大の話題は、年2回の例会開催回数の増加を行うかどうかであった。結論として、これまでの参加費1,000円/人を1,500円/人に値上げすることを前提に、年3回の開催が決まった。

[順位賞] [バラエティ賞]

優勝 船山氏(S39修卒) 大波賞 橋本氏(S33卒)  
準優勝 鷺見氏(S28新卒) 小波賞 石黒氏(S40卒)  
第3位 中田氏(S38卒) 原点賞 中田氏(S38卒)  
第5位 橋本氏(S33卒) 敢闘賞 渡邊氏(S28旧卒)  
BB賞 渡邊氏(S28旧卒) 当日賞 船山氏(S39修卒)

### ○第106回 平成28年12月3日(土) 雀荘「すずめそう」参加者8名

当会の例会は、これまで年2回開催を原則としてきたが、先回の例会で年3回開催が決まり、今回はそのための追加的例会となった。しかし前回例会から3ヶ月後のことであり、果たして参加者が集まるか一抹の不安があった。されど結果的にはこれまでの大方の例会通り8名2卓の開催となった。

ゲームの進行は、中盤の初頭第2回戦から、当会2名のS38卒者である中田氏と平澤氏の、優勝をめぐる壮絶な一騎打ちとなった。結果的にシーソーゲームを制したのは優勝中田氏、準優勝は平澤氏であった。なおその途上、最終第4回戦において平澤氏がシャボ待ちの四暗刻聴牌、立直をかけたが、自摸前に出和りとなり満貫どまりとなったという一幕があった。また、その直前には S37藤江氏による親のハネマンの上りがあり、最後まで予断を許さない波乱に富んだ例会となった。

[順位賞] [バラエティ賞]

優勝 中田氏(S38卒) 大波賞 平澤氏(S38卒)  
準優勝 平澤氏(S38卒) 小波賞 肥後氏(S40卒)  
第3位 船山氏(S39修卒) 原点賞 肥後氏(S40卒)  
第5位 藤江氏(S37卒) 敢闘賞 石黒氏(S40卒)

BB賞 渡邊氏 (S28旧卒) 当日賞1/2 藤江氏 (S37卒)  
1/2 中田氏 (S38卒)

### ○第107回 平成29年3月4日(土) 雀荘「すずめそう」 参加者8名

今例会のゲーム進行は、全般的に手堅いプレーが多く、終始得失点差の小さい展開となった。そんな中で最終4回戦を前に、それまでの合計順位点第1位は S40卒肥後氏(54順位点)、次いで同2位はS50卒松田氏(26順位点)であった。結果は激戦の末、松田氏が大逆転で優勝した。途上、松田氏の役なし面前聴牌に肥後氏がハイター放荘、松田氏はこの稀有のアガリで、アガリ点1300点+リーチ供託棒3本3000点+1本積み300点=合計4600点を大量獲得する場面があり、それが以後の流れをよきし、大逆転につながったと思われる。これも松田氏の安定した好判断続出のプレーの賜物と思われる。なお、松田氏には、94年12月第64回例会に初参加以来10例会に出場、3回の準優勝をへて、24年目に達成の優勝の快挙であった。

今例会ではまた、若手(注: 当会ではここ数年、S40卒以下)の大活躍が目立った。優勝、準優勝をはじめ、全10賞品のうち7賞品をゲットする快挙であった。

[順位賞] [バラエティ賞]

優勝 松田氏 (S50卒) 大波賞 肥後氏 (S40卒)  
準優勝 肥後氏 (S40卒) 小波賞 廣川氏 (S43卒)  
第3位 平澤氏 (S38卒) 原点賞 井沢氏 (S43卒)  
第5位 渡邊氏 (S28旧卒) 敢闘賞 井沢氏 (S43卒)  
BB賞 中田氏 (S38卒) 当日賞 廣川氏 (S43卒)

以上

### ●ゴルフ会活動報告

幹事 古澤久具(S35卒)、山澤 穰(S38卒)、田崎 信(S44卒)

平成28年度は平成28年10月19日と平成29年4月5日の2回コンペを開催しました。

開催日、開催場所、入賞者は以下のとおりです。

- ・ 第132回 平成28年10月19日晴 本厚木 CC 参加者15名、優勝:前川則夫氏(36)、準優勝:橋本 武夫氏(42)、3位:山澤 穰(38)
- ・ 第133回 平成29年4月5日晴 本厚木CC 参加者19名、優勝:牧之内顕文氏(42)、準優勝:初鹿野凱一(36)、3位:鍵山 圭一郎氏(31)、()内は卒業年度。

洛友会ゴルフは春秋年2回開催としており、春は桜の満開時期にあわせて開催日を選んでいきます。今春、東京では3月21日に開花宣言したものの3月下旬に最低気温が5℃前後の日が続き満開予想は4月2日と発表されましたが、ゴルフ場の桜は当日ほぼ満開の8分咲きとなり、気温も高く絶好のゴルフ日和でありました。若い人の参加が少なく参加者の高齢化が進み参加者数が毎年減少してきていることは何度も報告した通りですが、多くの方がゴルフ会に参加されるよう願って、ゴルフの効用に関するスウェーデン・カロリンス研究所のデータを紹介しておきます。

「ゴルフの健康効果:腰割りストレッチ、歩きかた、認知症予防の脳トレに在ります。カロリンス研究所のデータに依るとゴルファーの死亡率は40%低い、つまり寿命が5年長いとのこと。しかも、面白い因果があり、ハンディキャップが低い人ほど長生きする傾向がある。ゴルフの動きに隠された健康効果はスイングの動きと歩きの二つに期待できる。また、準備運動として腰割りストレッチをすることで股関節が柔らかくなり、下半身の血流が良くなる。更に、脳との関係ではスイングを頭の中でイメージしたりすること、打つことに依って前頭葉を活性化することができるので認知症や物忘れ防止には最適なスポーツだとか♪」

さあ、皆さん高齢になってもゴルフを続け健康年齢を伸ばそうではありませんか。

参加費を1000円と低く抑えていますので、出来るだけ多くの人の参加をお待ちしております。

以上

## ●洛謡会活動報告

幹事 村上 薫(S36卒)

謡会を3回開催しました。

- 1) 第154回洛謡会 平成28年9月19日(月・祝) 於 目黒区勤労福祉会館  
曲目: 氷室(宝) 百万(観) 千手(宝) 楊貴妃(観)
- 2) 第155回洛謡会 平成29年1月9日(月・祝) 於 目黒区勤労福祉会館  
曲目: 盛久(宝) 東北(観) 加茂物狂(宝) 葵上(観)
- 3) 第156回洛謡会 平成29年3月20日(月・祝) 於 目黒区勤労福祉会館  
曲目: 敦盛(観) 熊野(宝) 鞍馬天狗(観) 祇王(宝)

宝生流と観世流で毎回2曲ずつ謡っています。

謡のご経験のある方がおられましたら是非ご参加ください。(現在会員13名)

以上

## ●テニス会活動報告

幹事 山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒)、成松 洋(S46卒)(文責)

洛友会東京支部テニス会は、これまで40年以上の継続実績があり、昭和50年代からほぼ毎月1回のペースで週末あるいは祝祭日での例会開催を続けてきました。以前から拠点にしている世田谷の東京インター(用賀)近くにある大蔵第二運動場に加え、八王子戸吹スポーツ公園などのコートの確保を試みており、暫くは成功していましたが、他のテニスグループの数が増えたのか最近では抽選の当選確率が悪くなり、平成28年度の世田谷以外の開催実績は1日だけになってしまいました。それに加えて、計画したものの天候に恵まれずあるいは人数不足での中止も数回あり、年間実施回数が減ってしまいました。平成29年度はまた挽回したいと思っています。

関東圏の広い範囲からの会員の参加を期待しており、事実、例会に積極的に参加されている皆さんのお住まいは広範囲に分布していて、例えば、東は東京都墨田区、西は横浜からの参加者が居られます。

毎回2時間、ダブルスでのゲームを行っています。幅広い年代の皆さんが参加され、またしばしば奥様・ご友人の参加もあって、楽しく賑やかにゲームを行い良い汗をかいています。平成28年度実績としては11回の開催が計画され、雨天や人数不足のため実際には7回の開催となりました。2時間のテニスの後、時間が許せば懇親会を兼ねた昼食会を持つこともあります。

今後も継続して、楽しいテニス会を開催したいと願っています。初心者でも大歓迎ですので、少しでもテニスに興味をお持ちの方々、そして腕に自信のある方、ぜひ幹事までご一報ください。

回	開催日			参加人数	開催場所
1	平成28年	4月3日	(日)	7名	世田谷区大蔵第二運動場
2		5月7日	(土)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
3		6月26日	(日)	4名	八王子戸吹スポーツ公園
4		7月10日	(日)	7名	世田谷区大蔵第二運動場
5		11月27日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
6	平成29年	1月9日	(月祝日)	6名	世田谷区大蔵第二運動場
7		2月5日	(日)	7名	世田谷区大蔵第二運動場

以上

## 1.6 拡大クラス会

名称	平成28年度 幹事
京極会[S35～S39卒]	山澤 穰氏(S38卒)
洛粹会[S40～S44卒]	志賀 正氏(S43卒)
洛談会[S45～S49卒]	高重哲夫(S46卒)、杉山 守(S47卒)
洛笑会[S50～S54卒]	川原崎雅敏氏(S50卒)

## ●京極会[S35～S39卒]

幹事 山澤 穰(S38卒)

平成28年11月11日(金)学士会館において11名の参加により平成28年度の京極会例会を開催しました。今回は昭和38年電気卒の中田良知氏の「囲碁の世界」と題した講演を聴き、続いて昼食を共にして、講演に関する追加質問や感想、それぞれの近況、最近の関心事項を語り合い懇談しました。やはり健康問題の話題が多かったと思います。

中田良知氏は現在、洛友会東京支部囲碁会ほか多数の囲碁会の幹事をされています。

今回は囲碁を打たれない方々にも楽しめるよう紙芝居形式での講演でした。囲碁の歴史を含む頭の体操になるような、囲碁のことが全く分からない者にも興味深い講演だったと幹事「推定」します。

と言いますのも、当日は大変な悪天候で、神奈川県在住の幹事にとっては完全な交通遮断、横須賀線も東海道線も止まるというハプニング、やっと到着した時には講演はほぼ終了という状況でした。

なお京極会では例会とは別に年2回ゴルフ会を行っています。本年度は平成28年4月22日(金)および同年10月24日(月)いずれも津久井湖ゴルフ倶楽部において、参加者いずれも8名です。

以上

## ●洛粹会[S40～S44卒]

幹事 志賀 正(S43卒)

第9回洛粹会は昭和43年卒が当番学年として準備を進め、「お台場の雰囲気を楽しみながら、50年間のテレビジョン放送の技術的イノベーションを学ぶ会」として設定するという事で43年卒同期で現在もフジテレビジョン常任顧問をされ放送技術規格化の重鎮である関 祥行さんをお願いして加わって頂き、廣川・松田・松本・山本・志賀の6名が幹事団として準備・運営を行い以下のように開催しました。

1. 日時:2016年12月1日(木)15時～18時30分
2. 当日のスケジュール
  - 第1部 フジテレビ施設見学 15:00～15:45  
25F球体展望室、5Fワンダーストリート
  - 第2部 講演会 講師:関 祥行 16:00～17:00  
「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて  
50年間のテレビジョン放送の技術的イノベーション」
  - 第3部 懇親会 17:00～18:30  
パーティープランの食事とフリードリンク
3. 場所
  - 第1部 フジテレビ施設見学 お台場フジテレビ
  - 第2部 講演会 台場フロンティアビル2F「クルックス カフェオ ヨーロピアン  
リゾートカフェ」(会場貸切)
  - 第3部 懇親会 同上
4. 参加者 32名(S40 4名、S41 11名、S42 4名、S43 7名、

S44 6名)

当日は午前中の雨も上がり、お台場フジテレビ7F屋上庭園広場に集合後各年次単位で25F球体展望室からお台場の雨上がりのきれいな眺望を楽しみながらフジテレビさんの各種施設を見学し、講演会場となる台場フロンティアビルに移動しました。

第2部は関さんの入社以来のテレビジョン放送の技術的イノベーションの集大成となる講演を直近の放送技術規格化に重点を置きながらお話頂き、活発な質疑応答も楽しませて頂きました。

12月に入ったお台場の雰囲気を楽しみながら、第3部の懇親会もお洒落なカフェでお料理とフリードリンクを楽しみながら懇親の輪がどんどんと拡がり大いに盛り上がったところで次回洛粋会幹事として昭和44年卒学年幹事の井上様にご挨拶を頂きお開きとさせて頂きました。

以上

### ●洛談会[S45～S49卒]

幹事 高重哲夫(S46 卒)、杉山 守(S47 卒)

洛談会は、8月27日(土)16時から懇親会を開催しました。今回の会場は、S46卒の成松さんが会員の帝国ホテルにある会員制倶楽部「ゴールデンライオン」でした。この会場は、帝国ホテルの奥まったところにあり、平日は政治家なども使用する、隠れ家のような場所のようです。土日は1日1組にしか貸し出しをしないそうで、今回の参加者23名が独占して使用することができました。落ち着いた雰囲気独占欲を満足することができました。

司会是高重、会計は杉山が担当しました。乾杯のあいさつの希望を募りましたが、名乗り出る人はいず、司会の乾杯ではじまり、にぎやかな懇親会となりました。最後は、いつもように逢坂(S45 卒)さんのハーモニカ演奏による琵琶湖周航の歌を全員で歌い、お開きになりました。

洛談会の参加者は、年次が若い方が多いようです。古い方が比較的時間の余裕が多いはずなので、積極的な参加呼びかけが必要と感じました。また、8月では、家庭サービス優先のため欠席という声もあり、9月以降の開催の方がよさそうです。



次回の幹事は蓮池(S48 卒)さんと成宮(S49 卒)さんが担当します。

以上

## ●洛笑会[S50～S54卒]

拡大クラス会[S50～S54卒] 洛笑会 第4回開催報告

第4回幹事 辻本雅彦(S51卒)

洛笑会(S50～S54卒の拡大クラス会)の会合は従来3月に開催していましたが、今年は5月の連休明けである2017年5月24日(水)19時から学士会館で参加者22名を得て開催しました。

川原崎さんの乾杯の音頭で幕を開けた懇親会は2時間余り、3つの丸テーブルを囲んで、会の名前に恥じない笑いの絶えないにぎやかな会になりました。

また、次回以降の開催に関して、時期、頻度、内容などについてご意見を伺ったところ、参加されていない方の意見も尊重すべきとのご意見が出され、竹原さんのご厚意・ご支援により、会員のメーリングリストを作成して意見集約や情報交換に活用することとしました。

参加者が前回と同じ22名と少なく、残念ながら日程変更による参加者増は期待通りにはいきませんでした。が、気候の良い時期の開催に気持ちよく歓談できました。

恒例の記念撮影の後、古川さんの中締めで来年の再会を期して散会しました。



以上

## 1.7 幹事会

日時: 平成29年5月21日 12:00～16:00

場所: 学士会館本館(2階203会議室)

議題:

- (1) 平成28年度決算・行事報告
- (2) 平成29年度予算・行事計画
- (3) その他  
平成29年度洛友会東京支部総会議案について

## 1.8 第5回京都大学同窓会東京支部連絡会議および交流会

京都大学同窓会東京支部連絡会

日時:平成29年4月22日(土)17時30分~21時

場所:京都大学東京オフィス(新丸の内ビル10階)

来賓として徳賀 芳弘 京都大学副学長・京都大学同窓会代表幹事にご臨席賜り、在京10同窓会21名が参加して連絡会議が開催されました。会議冒頭、徳賀 副学長から京都大学同窓会活動の紹介の後、全学10万人名簿を作成するので東京支部連絡会の方々の協力をお願いしたいとのご挨拶がありました。

次に、社外への情報発信を目的とした「京都大学未来フォーラム」(2004年4月から百周年時計台記念館で年3回開催)を東京で年1回開催することが提案され、幹事会で詳細を検討することになりました。

最後に、連絡会発足以来代表幹事を務めて頂いた芝蘭会(医学部)の大高 道也 氏が退任され、有信会(法学部)の出口 尚明 氏が新代表幹事に就任することが承認されました。

なお、洛友会は連絡会の幹事同窓会であり、成宮 前支部長が幹事を務めて来ましたが、6月の支部総会後は下村 新支部長が幹事を引き継ぎます。

### 第3回交流会

講演会 演題:「日本人とインフラ」 講師:大石 久和 土木会東京支部長

概要:各国の首脳が揃ってインフラ整備の重要性を強調しているのに、政策として公共事業費という単年度予算の多寡だけが問われる日本の異常さは、宗教戦争や民族殲滅などの大量殺戮から国民を守る「城壁」を築く必要がなかったことに起因しているのではないかと仮説を紹介され、更に日本(人)論に展開されたインパクトの強い講演でした。

懇親会 その後、写真撮影の後、新丸の内ビル7階のレストランに場所を移し、懇親を図りました。

[報告] 前支部長 成宮 憲一(S49卒)

## 1.9 課題への取り組み報告

### 若手活性化施策

#### ●若手交流会

平成28年度は、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の前理事長の立川 敬二様をお招きし、「NTTにおけるビジョン策定と JAXA における経営改革」に関するご講演をいただきました。若手会員から要望の高かった企業経営に関して御講演いただき、例年にも増して若手会員からの期待度が高く、平成年度卒業の参加者が7割程度と多く参加されました。

ただし、京都大学東京オフィスで開催する場合には終了の時間が早いため、講演会後の「交流会」の時間を取ることができなかつたため、H29年度は交流の場を設けることが課題です。

#### ●洛友会会報への寄稿

洛友会会報東京支部担当分

- H28年7月号 巻頭言 成宮 憲一氏(S49年卒) 前東京支部長
- H28年10月号 一般寄稿 大西 隆司氏(H7年卒)
- H29年4月号 一般寄稿 川原崎 雅敏(S50年卒)

## 2. 平成28年度決算報告および監査報告

### 2.1 決算報告

#### 1) 収入の部

	H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	H28 決算	差分	備考
繰越金	2,263,043	2,067,991	2,389,424	1,980,006	2,135,766	1,865,120	1,826,035	1,826,035	0	
支部会費	844,000	841,000	759,000	786,000	786,000	757,000	746,000	746,000	0	
支部交付金	472,000	470,500	429,500	443,000	443,000	428,500	423,000	423,000	0	
利息など	598	424	236	380	656	486	500	260	240	
総会補助	0	300,000	0	300,000	0	300,000	0		0	
未払い金	0	0	0	0	0	0	0		0	
合計	3,579,641	3,679,915	3,578,160	3,509,386	3,365,422	3,351,106	2,995,535	2,995,295	240	

#### 2) 支出の部

	H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	H28 決算	差分	備考
総会・記念行事費	518,309	518,087	710,864	532,169	508,609	548,566	550,000	578,428	-28,428	注1
秋の講演会費	537,179	341,863	323,908	257,905	328,116	349,602	300,000	292,652	7,348	
役員会・幹事会費	128,437	148,109	123,562	179,790	197,589	197,444	200,000	207,802	-7,802	
旅行・見学会等補助	2,300	-8,995	107,214	101,331	124,585	124,749	100,000	122,926	-22,926	注2 注5
趣味の会補助	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	0	
拡大クラス会補助	130,000	120,000	120,000	140,000	120,000	80,000	100,000	80,000	20,000	注3 注5
若手層活性化活動費	67,198	42,472	77,036	29,190	88,521	96,063	200,000	202,290	-2,290	
印刷通信費	26,495	28,955	35,570	33,235	32,882	28,647	40,000	24,606	15,394	注4
慶弔費	1,732	0	0	0	0	0				
未払い金充当	0	0	0	0	0	0	0		0	
小計	1,511,650	1,290,491	1,598,154	1,373,620	1,500,302	1,525,071	1,590,000	1,608,704	-18,704	
次年度繰越金(残高)	2,067,991	2,389,424	1,980,006	2,135,766	1,865,120	1,826,035	1,405,535	1,386,591	18,944	
合計	3,579,641	3,679,915	3,578,160	3,509,386	3,365,422	3,351,106	2,995,535	2,995,295	240	

注1) 予算より参加者減少による会費の減少のため。

注2) 参加者数が例年よりも少なく、また、直前のキャンセルにより収入未達のため。

注3) 新規クラス会が発足しなかったため。

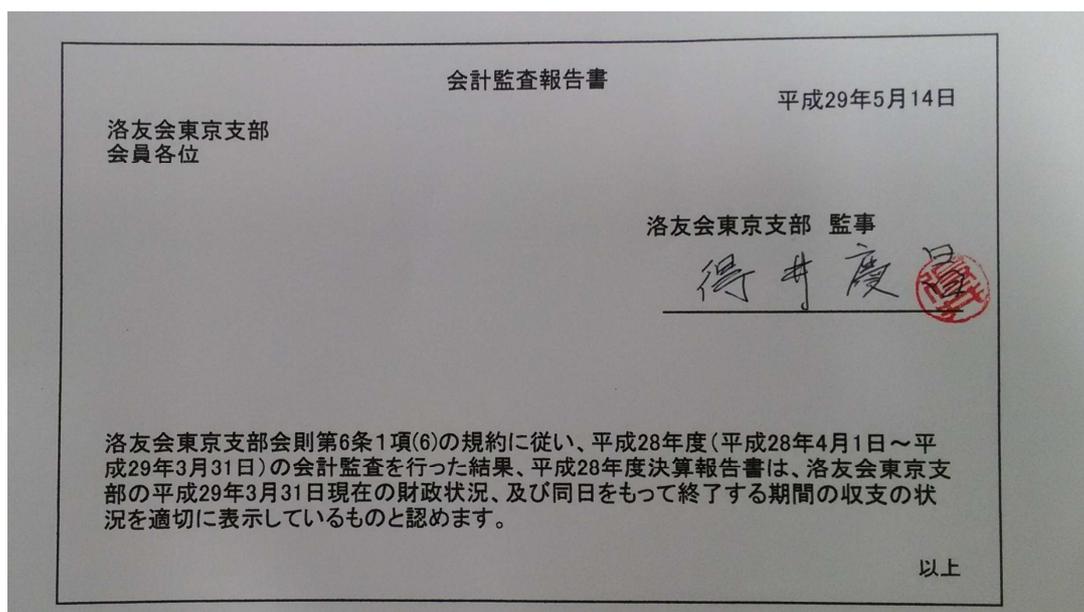
注4) 支出は例年同等。

注5) 見学会及び落笑会の開催は平成29年3月31日以降であったが、平成28年度行事のため平成28年度決算の報告とした。

#### 3) 資産の部【(平成29年3月31日現在)】

銀行預金残金	1,386,591
現金残金	0
合計	1,386,591
繰越金	1,386,591

## 2.2 監査報告



(参考)

## 平成28年度 支部会費納入状況

2017/3/31現在

支部名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	会費納入 会員数	会費納入		所属 会員数	会費 納入率									
	会員数	金額	会員数	金額	会員数	率								
北海道	13	10	10	10	12	11	10	14	14	13	13	13,000	20	65%
東北	18	19	19	21	20	18	14	15	14	15	12	12,000	32	38%
東京	821	803	796	844	841	759	786	786	757	746	735	735,000	1,836	40%
北陸	46	48	45	47	47	44	42	42	34	40	41	41,000	113	36%
中部	123	120	117	146	132	127	118	139	145	146	145	145,000	548	26%
関西	907	897	857	1,006	1,007	1,001	1,012	938	818	833	830	830,000	3,064	27%
中国	92	92	84	100	97	95	100	104	95	93	89	89,000	237	38%
四国	57	59	57	62	56	57	63	60	54	60	58	58,000	151	38%
九州	63	57	56	61	52	50	55	64	56	63	56	56,000	164	34%
	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	円	名	
	2,140	2,105	2,041	2,297	2,264	2,162	2,200	2,162	1,987	2,009	1,979	1,979,000	6,165	32%

## 3. 平成29年度の役員／評議員／幹事

## ●役員

	平成29年度新役員(案)	平成28年度 役員
支部長	下村 寛士 (S51)三菱プレジジョン(株)	小森 光修 (S50)スカパーJSAT(株)
副支部長	得井 慶昌 (S52)日本通信ネットワーク(株)	下村 寛士 (S51)三菱プレジジョン(株)
監事	伊東 康之(S53)JAXA	得井 慶昌 (S52)日本通信ネットワーク(株)
総務幹事	山本 輝哉 (H10) 東芝ソリューション(株)	福原 忠行 (H09) (株)KDDI 研究所
会計幹事	竹田 真二(H11)(株)NTTドコモ	山本 輝哉 (H10) 東芝ソリューション(株)
庶務幹事	工藤 伊知郎 (H10) NTT(株)ネットワークサービスシステム研究所	工藤 伊知郎 (H10) NTT(株)ネットワークサービスシステム研究所
若手交流会 幹事	福原 忠行 (H09) (株)KDDI 研究所 黒田 晋嗣 (H11) 三菱電機(株)	田邊 義孝 (H08) 東海旅客鉄道(株)

## ●学年幹事

卒年	平成29年度学 年幹事	(参考) 平成28年度学 年幹事	備考
S13	平野 彰	←	
S16	永安 弘	←	
S21	武田 邦彦	←	
S23	服部 周三	←	
S24	舟田 正男	←	
S25	山田 昭二郎	←	
S26	青山 善次	←	
S27	室賀 弘	←	
S28	朝比奈 隆 近藤 貞吉	←	
S30	葉原 耕平	←	
S31	鍵山 圭一郎	←	
S32	小山 徹	←	
S34	川本 幸雄	←	
S35	榊 博史	←	
S36	村上 薫	←	
S37	藤江 恂治	←	
S38	関 清三	←	
S40	佐藤 正夫	←	
S41	森田 浩三	←	
S42	浜口 友一	←	
S43	志賀 正	←	
S44	井上 英也	←	
S45	逢坂 福信	←	
S46	高重 哲夫	←	
S47	杉山 守	←	
S48	蓮池 和夫	←	
S49	成宮 憲一	←	
S50	川原崎 雅敏	←	
S51	辻本 雅彦	←	
S52	古川 清二	工藤 明彦	
S53	伊藤 康之	永井 啓喜	
S54	伊藤 八大	←	

S55	濱野 宏	←	
S56	岡田 英俊	←	
S57	小倉 光裕	←	
S58	柴沼 敏郎	←	
S59	藤田 善弘	←	
S60	田村 俊之	←	
S61	川上 弥	←	
S62	大矢 智之	←	
S63	水本 政宏	←	
H1	菅谷 靖	←	
H2	中原 智勇	←	
H3	鎌田 照己	←	
H4	的場 直人	←	
H5	松野 知愛	←	
H6	松村 善洋	←	
H7	古屋 裕規	←	
H8	森川 大補	←	
H9	福原 忠行	←	
H10	渡辺 有吾	←	
H11	佐方 連	←	
H12	保坂 幸治	←	
H13	沈 紀暉	←	
H14	辻野 孝輔	←	
H15	南川 敦宣	←	
H16	西川 大祐	←	
H17	濱田 隆行	←	
H18	松嶋 孝明	←	
H19	田中 広記	←	
H20	大石 裕司	←	
H21	小林 陽太郎	←	
H22	園木 悠司	←	
H23	北浦 宏祐	←	
H24	下井 智裕	←	
H25	松藤 浩平	←	

## ●評議員

卒年	平成29年度 評議員	(参考) 平成28年度 評議員	備考
S21	日下部 悦二	←	
S22	増田 孝雄	←	
S23	仲本 秀四郎	←	
S24	北野 豊	←	
S25	西岡 博	←	
S28	武藤 良介	←	
S30	荒木 襄 魚住 董 萱島 興三	←	
S31	近藤 光洋	←	
S32	三橋 堯	←	
S34	橋本 勉 森安 正司 川本 幸雄	←	
S35	仁田 周一 西田 武彦 幸野 眞士 角 忠夫	←	
S36	和田 昌美 前川 則夫	←	
S37	竹居 敏夫 竹井 大輔 馬場 征彦 藤江 恂治	←	

S38	伊吹 十之	←	
S40	田島 孝	←	
S41	江上 貞夫 向井 利典	←	
S42	久樹 隆彦	←	
S43	中野 貞彦 松田 晃一	←	
S44	井上 英也	←	
S45	塩見 正	←	
S46	小澤 秀司	←	
S47	大槻 兼市 遊佐 洋	←	
S48	谷口 治人 安田 豊	←	
S49	成宮 憲一	←	
S50	小森 光修		新任
S50	横川 文彦	←	
S52	七原 俊也	←	

S58年以降は評議員設定なし

## ●趣味の会幹事

名称	平成29年度幹事	(参考)平成28年度幹事
囲碁会	喜多村 滋(S36卒)、向井 利典(S41卒)	←
麻雀会	船山 眞弘(S39修卒)	←
ゴルフ会	古澤 久具(S35卒) 山澤 穰(S38卒)、田崎 信(S44卒)	←
洛謡会	村上 薫(S36卒)	←
テニス会	山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒) 成松 洋(S46卒)	←

## ●拡大クラス会幹事

名称	平成29年度幹事	(参考)平成28年度幹事
京極会[S35～S39卒]	榑博史(S35) 西田武彦(S35)	山澤 穰(S38卒)
洛粹会[S40～S44卒]	井上 英也(S44)	志賀 正(S43卒)
洛談会[S45～S49卒]	蓮池 和夫(S48) 成宮 憲一(S49)	高重 哲夫(S46卒) 杉山 守(S47卒)
洛笑会[S50～S54卒]	辻本 雅彦(S51卒)	川原崎 雅敏(S50卒)
[S55～S59卒](新規)		—

## 4. 平成29年度行事・活動計画

本年度の東京支部行事は下記の通り計画しています。なお、各行事の詳細決定につきましては、役員会にご一任いただきたく併せてお諮りします。

### 4.1 支部総会・懇親会

- 平成29年6月25日(日) 学士会館
- 東京支部総会(14:00～14:55)、本部総会(15:00～15:55)、支部講演会(16:00～17:00)、懇親会(17:00～18:30)
- 昨年同様、懇親会費は 5,000 円。ただし、若年層の出席を促すため、従来通り、卒業後5年以下の会員は会費無料、また今年も75歳以上の会員は減額(会費 3,000 円)。

### 4.2 講演会(支部総会と同日・同会場で開催)

原田博司教授(京都大学)をお招きし、「IoT時代の無線通信システムの研究開発, 標準化」と題してご講演を頂きます。

### 4.3 秋の講演会

年1回開催。

- 平成29年11月13日(月) 学士会館320号室
- 18:30～19:30講演、19:30～20:30懇親会
- 講演者：三菱電機(株)取締役会長 山西健一郎 氏

### 4.4 見学会・旅行会

年1回開催。平成30年3月頃を予定。見学先は今後決定します。

### 4.5 趣味の会

昨年同様の開催を予定。(詳細は別途希望者へ連絡、またはホームページ掲載)ご希望、またはお問い合わせがございましたら、以下のアドレスにメールをご送付ください。

- ・囲碁会 igo@rakuyukai.org
- ・麻雀会 mahjong@rakuyukai.org
- ・ゴルフ会 golf@rakuyukai.org
- ・洛謡会 utai@rakuyukai.org (宝生流、観世流の謡会)
- ・テニス会 tennis@rakuyukai.org

### 4.6 拡大クラス会

- 昨年同様の開催を予定。(詳細は別途幹事より連絡)
- S55～S59の拡大クラス会の設立を目指す。

### 4.7 幹事会

年1回開催を基本。平成30年度は5月20日に開催し、年度の活動方針を議論。必要に応じ追加開催を行います。

## 4.8 若手交流会

時期:検討中

会場:検討中

集客:若手にフォーカスした更なる集客

懇親会の充実化:

- 会員相互の交流を促す仕組みを設ける
  - 参加者リストの配布
  - 全員、または数名に自己紹介/スピーチいただく

## 4.9 その他活動計画

- (1) 登録会員(連絡先が把握できている会員)数向上  
若年層幹事(支部長年次以降)を中心として、研究室の縦のネットワーク、企業の縦のネットワークを活用し、東京支部会員の把握率を向上させます。また、学年幹事との連絡を推進します。
- (2) 若手活性化施策について  
若手交流会の更なる活性化(上述)に加えて、若手学年幹事との連携を推進し、行事の連絡などをより広範囲に効率的に行います。また、若手(45歳以下)向けの全学同窓会活動、京都大学同窓会若手会(<http://gakushikai.web.fc2.com/KUW.html>)への参加も促します。
- (3) 全学同窓会活動  
京都大学全学同窓会活動(京大アラムナイ)により、全学同窓生のデータベース化が行われています(<http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/>への登録)。洛友会東京支部としても登録を推奨するとともに、全学同窓会活動(東京支部連絡会議)との連携を図っていきます。また、洛友会東京支部では幹事の任期を2年としていますので、下村新支部長が幹事として参加します。

## 5. 平成29年度予算計画

### 1) 収入の部(H29.4.1-H30.3.31)

	H29 予算(案)	(参考)H28 決算	備考
繰越金	1,386,591	1,826,035	
支部会費	735,000	746,000	支部会費:1,000円/人 支部会員 735名
支部交付金	417,500	423,000	支部交付金:500円/人(735名分) 50,000円/支部
利息など	300	260	
総会補助	300,000	0	
未払い金	0	0	
合計	2,839,391	2,995,535	

### 2) 支出の部(H29.4.1-H30.3.31)

	H29 予算(案)	(参考)H28 決算	備考
総会・記念行事費	550,000	578,428	前年度と同じ予算額 ※①
秋の講演会費	300,000	292,652	前年度と同じ予算額
役員会・幹事会費	200,000	207,802	前年度と同じ予算額
旅行・見学会等補助	100,000	122,926	前年度と同じ予算額
趣味の会補助	100,000	100,000	前年度と同じ予算額。※②
拡大クラス会補助	100,000	80,000	前年度と同じ予算額。※② ※③
若手層活性化活動費	200,000	202,290	前年度と同じ予算額
印刷通信費	25,000	24,606	前年度実費額に減額
未払い金充当	0	0	
小計	1,575,000	1,608,704	
次年度繰越金(残高)	1,264,391	1,386,591	
合計	2,839,391	2,995,295	

※① 前年同様、会費のシニア割引(通常 5,000 円を 75 歳以上 3,000 円とする)を実施する。また、喜寿、米寿および卒業後 5 年以内(本年度は H24 卒以降)の総会出席者は会費無料とする。

※② 趣味の会、拡大クラス会補助の 1 万円/会から 2 万円/会への増額については、5 年間の増額期間の 3 年目。

※③ おぼろ会の解散、S55～S59 卒の拡大クラス会設立のため前年度と同じ予算額とする。

## 6. 米寿、喜寿を迎えられた方々

洛友会東京支部 支部会則 第13条 に基づき、総会案内の返信にてお申し出のあった以下の対象の方々に、会員より祝意を表すものです。

米寿お祝い対象者： 数え年88歳(昭和4年生まれ)の方

喜寿お祝い対象者： 満年齢77歳(昭和14年4月1日～昭和15年3月31日)の方

本年は申告ベースでの該当者なし。

1)米寿 (0名)

2)喜寿 (0名)

※米寿・喜寿対象者の方の総会会費は無料とします。

—以上—

## 付録1:洛友会東京支部会則【平成28年6月26日改正】

(名称)

第1条 本支部は洛友会東京支部と称する。

(事務所)

第2条 本支部事務所は総務幹事の所属勤務先またはそれに準ずるところとする。

(目的)

第3条 本支部は会員相互の親睦を図り、学術文化の知識向上を図ること、並びに京都大学電気系教室の発展に寄与することを目的とする。

(行事)

第4条 本支部は第3条の目的を達成するため次の行事を行う。

1. 見学会、旅行会、講演会等を開催する。
2. 拡大クラス会及び趣味の会を支援する。
3. 支部総会を年1回開催する。
4. 隔年の本部総会開催時は協力、支援する。
5. 本部による会員名簿の発行、広告募集に協力する。
6. 米寿および喜寿の会員に対し祝意を表する。
7. その他本支部の目的を達成するために必要な行事を行う。

(会員)

第5条 本支部の会員は以下の通りとする。

1. 会員

本支部は洛友会会員で原則として関東地区に居住する者で組織する。またその周辺に居住するもので本支部に入会を希望するものは幹事会の議を経て入会する事を歓迎する。

2. 行事への参加

会員は総会に出席してその議決権を行使することができる。また、本支部の主催する各種行事に積極的に参加ならびに協力し、本会則ならびに総会及び幹事会の決議を遵守し、本支部の発展ならびに会員相互の交流促進をはかる。

3. 会費

会員は、洛友会会則により定められた会費ならびに支部会費を、年度の初めに一括して本部に、その他本支部行事参加費等本支部で定めた費用を、その都度遅滞なく納入する。

(役員及び役員会)

第6条 本支部には次の役員を置く。

1. 役員

(1) 支部長 1名

本支部を代表し、会務を統括する。

(2) 副支部長 1名

支部長を補佐し、支部長不在のときはその会務を代行する。

(3) 総務幹事 1名

会務全般を処理する。

(4) 会計幹事 1名

総務幹事を補佐し、会計事務を処理する。

(5) 庶務幹事 1名

総務幹事を補佐し、ホームページ維持管理ほか幹事会で決議した特命事項を担当する。

(6) 監事 1名

会計を監査する。

(7) 若手交流会幹事 1名

若手交流会を処理する。

2. 役員を選任

(1) 支部長及び副支部長は本支部総会の議を経て選任する。

(2) 総務幹事、会計幹事、庶務幹事及び監事、若手交流会幹事は支部長が委嘱する。

3. 任期

役員は任期は1年とし、原則として再任は行わない。ただし、庶務幹事については再任を妨げない。

副支部長が翌年の支部長に就任すること及び会計幹事が翌年の総務幹事に就任すること総務幹事が翌年の若手交流会幹事に就任することが望ましい。役員は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまではその職を継続する。

4. 役員会

役員は役員会を組織し、総会の付議事項を含め、本支部の目的達成のため重要事項を審議し幹事会に提案する。

(幹事及び幹事会)

第7条

1. 幹事会メンバー

幹事会メンバーは第6条で定められた役員及び幹事会で指名された評議員及び学年幹事ならびに趣味の会、拡大クラス会等ごとに選任された代表者各1名により構成され、毎年幹事会で確認の上登録する。

支部役員経験者を評議員に加えることを考慮する。

## 2. 任期

第6条で定められた役員を除き、幹事会メンバーの任期については特に定めない。

## 3. 幹事会の運営

幹事会は、原則年2回開催し、年度の支部活動方針ならびに活動の総括、総会の付議事項、その他必要な重要事項の審議を行い、承認する。議長は支部長が、書記ならびに事務局は総務幹事が、幹事会メンバーの賛同を得てこれに当る。

## (総会)

第8条 総会は本支部の最高議決機関で、全会員で構成する。

1. 総会は原則として毎年6月に開催する

2. 総会は支部長が招集して、その議長となる。

3. 総会の招集は開催日の1ヶ月前までに議題、日時、開催場所等を記載した書面、ホームページ又は電子メールなどで通知する。

4. 議決は出席会員の過半数の賛成により決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

## (総会の付議事項)

第9条 総会の付議事項は次の通りとする。

### (承認事項)

(1) 前年度の行事報告及び収支決算

(2) 当該年度の行事計画及び収支予算

### (決議事項)

(1) 支部長、副支部長の選任

(2) 本支部会則の変更

(3) 本支部の解散及び残余財産の処分

(4) その他本支部活動に必要な重要事項

## (総会の議事録)

### 第10条

1. 総会の議事録については、議事録を作成し、これを保存する。

2. 総会において議決された事項は、会員にホームページ、洛友会会報等にて通知する。

## (経理)

第11条 本支部は支部会費、交付金、寄付金及び行事参加費をもって経理する。

## (年度)

第12条 本支部の年度は4月1日に始まり3月31日に終わる。

## (慶祝事)

### 第13条

1. 米寿(数え年88歳)及び喜寿(満77歳)を迎えられた方々に対し、総会にて会員より祝意を表す。

2. その他会員の特別の慶事に対しては幹事会の議を経て祝意ならびに記念品を贈呈する事が出来る。

## (趣味の会活動)

第14条 本支部は、有志より活動申請に基づき幹事会の承認を受けて趣味の会を組織できる。趣味の会は、本支部にその活動状況を報告する。本支部は活動の補助金を出すことが出来る。

## (拡大クラス会活動)

第15条 本支部は卒業後20年(学部換算)経過した者で5年単位にて有志より活動申請に基づき幹事会の承認を受けて拡大クラス会を組織できる。拡大クラス会は本支部にその活動状況を報告する。本支部は活動の補助金を出すことが出来る。また、5年単位での活動継続が困難となった場合は、幹事会の承認により、複数の拡大クラス会を統合して拡大クラス会活動を行うことができる。

## (付則)

本支部会則は平成28年6月25日付にて施行する。